

会議録（要点記録）

会議名称	令和８年度 第１回小金井市医療的ケア児支援連携推進協議会		
開催日時	令和８年５月２９日（金）１８：００～１９：３６		
開催場所	小金井市役所第二庁舎 ８０１会議室		
出席者等	委員：副島会長、富永副会長、茂木委員、小林委員、岸野委員、石川委員、砂川委員、岡委員、名取委員、所委員、高村委員、市川委員 事務局：自立生活支援課長、相談支援係長、相談支援係主査、相談支援係主事、子ども家庭部保育課課長、保育係長、小金井市医療的ケア児コーディネーター		
傍聴の可否	可	傍聴者数	９人
会議次第	１ 開会 ２ 市長挨拶 ３ 委嘱状の交付 ４ 委員及び事務局職員・医療的ケア児コーディネーターの紹介 ５ 会長の互選及び副会長の指名 ６ 議題 (１) 第２期までの協議事項・内容について及び今後の課題について (２) 第３期における会議録の作成について (３) 小金井市立保育園における医療的ケア児の受け入に関するガイドライン (４) 医療的ケア児コーディネート事業の実績報告について (５) その他 ７ 次回の開催日について ８ 閉会		
会議結果	１ 開会 ２ 市長挨拶 ３ 委嘱状の交付 ４ 委員及び事務局職員・医療的ケア児コーディネーターの紹介 ５ 会長の互選及び副会長の指名 ・会長の職は副島委員、副会長は富永委員となった。 ６ 議題 (１) 第２期までの協議事項・内容について及び今後の課題について ◎事務局 本協議会は令和４年１１月に設置した。要綱にもあるように、医療的ケア児及びその家族の支援に係る課題及び情報の共有に関する事項、関係機関の連携強化に関する事項、対応策の検討に関する事項、その他必要な事項となっている。第１期においてはコーディネーターの役割や設置方法について検討し、令和５年より委託設置を行った。令和６年度の第２期からはコーディネーターも協議会に参加し		

対象児への支援内容を報告しつつ、委員の皆様より助言をいただいた。課題としては医療的ケア児を受け入れる側の不安軽減をどうするかを考えた。令和7年度は、保育園・幼稚園等の関係者向けに研修会を開催した。今後の課題としては、支援対象児が学齢期に移行していく中で切れ目のない支援をどのようにしていくか委員皆様の助言をお願いしたい。

(2) 第3期における会議録の作成について

- ・会議録の作成方法については「要点記録」に決定した。

(3) 小金井市立保育園における医療的ケア児の受け入れに関するガイドライン

◎事務局 本ガイドラインは5月に小金井公立保育園における医療的ケア児受け入れ検討会議準備会において策定したものである。令和元年に法律が施行されて以降、医療的ケア児の入園申込が増えてきている。

そんな中、令和7年8月に小金井市立保育園の在り方に関する方針を定め、市立保育園が果たすべき役割の一つとして医療的ケア児の受け入れを率先して進めることを位置付けた。ガイドラインの作成については関係機関のご意見をいただき感謝申し上げる。

保育園で行う医療的ケアとして、喀痰吸引・経管栄養・導尿を記載しているが、このこと以外のケアについては実施体制を踏まえつつ個別に検討していきたい。利用児童の要件については原則2歳児クラス以上で要件を満たしている児童。主治医が入所可能と判断した場合は個別に検討したい。受け入れについては設備が整っている小金井市立けやき保育園を実施園として進めてまいりたい。入所時期は原則、毎年4月1日年度当初を考えている。医療的ケアの実施者については看護職員が主治医の指示に基づいて実施する。基本的に契約を結び体制を整備する。本ガイドラインについては市ホームページに掲載し令和9年4月の入所にむけて6月1日から相談受付を行う予定。7月に施設見学、8月に受け入れ検討会議を行い、入所条件を確認した上で利用決定をいたしたい。

保育園の入所が決まったら、支援計画を作成し緊急時の対応など記載を予定。医療的ケア児の受け入れにあたり、専門医として医師会より富永先生を推薦いただいている。ガイドラインは現場の声をききながら安心して受け入れる体制を整え少しずつ取り組んでいく趣旨で作成している。毎年見直しを行いながら充実・拡充を進めていきたい。

◎委員 入園後に医療的ケアの内容が重くなった場合はいかがか

◎事務局 現時点での想定はまだできていない。専門医・コーディネーターと相談し対応を検討したい。

◎委員 吸引のところにカニューレの想定はあるか。年齢を2歳児クラス以上にした理由、看護師の採用基準は。

	◎事務局 カニューレの想定はしている。年齢を2歳児クラス以上としたことについては体力面によるもの。実施者については正規の看護職員、さらに医療的ケアを行う看護師を1人採用することにした。 ◎委員 保護者の説明について。 ◎事務局 医療的ケア児の保育をしていることを他の保護者にも説明しトラブル回避のために明記している。個別に配慮もする予定である。 ◎会長 学校も参考になると思う。 ◎委員 関係書類の中に指示書が入っているが、更新はどのように進めていく予定か。 ◎事務局 運用の中で検討していきたい。 ◎委員 教育の立場からすると保育園にエレベーターがあるのは素晴らしい。看護師が3名常駐するのも手厚いと思う。 ◎事務局 けやき保育園でしか受け入れないわけではなく、内容により検討したい。 (4) 医療的ケア児コーディネート事業の実績報告について ・個人情報扱ったため省略。以下委員意見。 ◎委員 保育園と幼稚園は基本的に生活の仕方が違うためどのような体制を整えていくのか考える必要があると思った。 ◎委員 保育園同士でも情報交換の必要がある。 7 次回の開催日について 令和8年11月13日 金曜日 午後6時～ 場所 市役所第二庁舎801会議室 8 閉会
提出資料	資料1 小金井市医療的ケア児支援連携推進協議会委員名簿 資料2 小金井市医療的ケア児支援連携推進協議会設置要綱 資料3 小金井市立保育園における医療的ケア児の受け入れに関するガイドライン 資料4 支援対象児リスト及びあいびーチラシ（リストは個人情報のため非公開。会議終了後、回収）